

豊岡市記者配布資料

年月日	部課名	電話	責任者 (役職名)
2023年 11月2日(木)	くらし創造部 ジェンダーギャップ対策室	0796-21-9004 (内線 2095)	上田 篤 (部次長兼室長)

(件名)

豊岡市のジェンダーギャップ解消の取組みが本になりました

(内容)

日経 BP 社から「豊岡メソッド 人口減少を乗り越える本気の地域再生手法」が11月25日に出版されます。

1 内容

2019年からジェンダー平等推進アドバイザーとして本市に関わっている大崎麻子さんや、フリーランスライターの秋山基さんの、市内事業者や市民など関係者への丹念な取材によって、全国から視察が殺到する本市のジェンダーギャップ解消の取組みの全容が明らかにされています。

また、人手不足に悩むすべての地方公共団体の担当者から中小企業経営者まで、新しい変革リーダーのための教科書として期待されています。

なお、市民の皆さんには「お求めの際は、ぜひ地元の書店で購入してください」と呼び掛けていきます。

2 その他

詳細は、添付の資料を確認してください。

《問合せ》

くらし創造部 ジェンダーギャップ対策室(担当 上田)
Tel 0796-21-9004

■ 豊岡市ジェンダーギャップ解消の取組みが本になります

『豊岡メソッド ～人口減少を乗り越える本気の地域再生手法～』 大崎麻子 秋山基 著

人口減少を止めるため、ジェンダー・ギャップを本気で解消する——。
全国から視察が殺到する、型破りなコミュニケーション改革を一挙公開！！

【内容紹介】

人口減少を止めるためにジェンダー・ギャップを本気で解消する——。全国から視察が殺到する、型破りな風土改革手法を一挙公開！

人手不足に悩むすべての地方公共団体の担当者から中小企業経営者まで、新しい変革リーダーのための教科書！

過疎に悩む典型的な地方都市豊岡は、「小さな世界都市」というビジョンを掲げた中貝宗治前市長の下、ユニークなまちづくりで注目を集めてきた。近年は人口減少の抜本的対策としてジェンダーギャップ解消に挑み、「ビジョン」「データ分析」「実践」の伴った取り組みには、官民を問わず全国から視察が相次ぐ。本書は関係者への丹念な取材により、その改革の実態に迫り読みやすくまとめた一冊。



【目次】

はじめに

序章 Taqline——`構え、をつくる

第1章 Organizational Capability——なぜ豊岡は`戦略的、なのか

第2章 Strategy I ——働きやすく、働きがいのある職場をつくる

第3章 Strategy II ——ジェンダーギャップ解消でまちづくりを

第4章 Transformation——変わり始めた企業

第5章 Kickoff——動き出す人々

第6章 Resource——地域の魅力を生かす

終章 豊岡メソッド——本気のコレクティブ・インパクト

発行：日経 BP 日本経済新聞出版 レーベル

発行時期：2023年11月25日（予定）

定価：1,980円 サイズ：四六判 ページ数：316ページ

日経 BOOK PLUS



■ 取材・執筆者

大崎 麻子（おおさき・あさこ）

特定非営利活動法人 Gender Action Platform 理事 関西学院大学総合政策学部客員教授

上智大学卒業後、米国コロンビア大学国際公共政策大学院修了(国際関係修士、国際人権・人道問題専攻)。国連開発計画(UNDP)でジェンダー平等と女性のエンパワーメントを担当し、世界各地で女性の教育、雇用・起業、政治参加促進等のプロジェクトを手がけた。現在は、グローバル動向と日本の現状を熟知するジェンダー専門家として、国内外で、調査、政策立案・評価、人材育成、講演活動に従事。著書に『エンパワーメント 働くミレニアル女子が身につけたい力』(経済界)ほか。

秋山 基（あきやま・もとい）

フリーランスライター

早稲田大学政治経済学部政治学科卒。日本経済新聞社入社後、東京社会部で警視庁、戦後50周年企画、成田空港、司法などを担当。

1998年退社後フリーに。ビジネス誌、情報誌などで記事を多数執筆。書籍の構成にも携わる。

執筆協力した著作に、『日本のリアル』（養老孟司著、PHP新書）『どうやって社員が会社を変えたのか』（柴田昌治・金井壽宏著、日本経済新聞出版社）『世界を動かす地域産業の底力ー備後・府中100年の挑戦』（中沢孝夫、筑摩書房）など多数。